

平成24年度 第3回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成25年2月20日 15:00～16:00

場所：当別町役場第二庁舎 2階 会議室

出席委員 14名、欠席委員 8名、オブザーバー 2名

1 開会（司会：増輪事務局長）

2 会長挨拶（近藤会長）

本日は、時節柄なにかとお忙しいなか、平成24年度第3回当別町地域公共交通活性化協議会に出席いただきましてありがとうございます。当別町コミュニティバスは平成18年から運行を開始しまして、今年で7年目になります。平成24年度1月までの運行状況を見ますと、運行収入が前々年度から減少しています。バス事業の運営を考えますと非常に厳しい状況であると考えております。これらの実績については、事務局より平成24年度のバス事業についての報告が3件ございます。また、議事といたしまして、平成24年度4月1日からのダイヤ改正についてご審議いただきたい。その後、25年度の予算案と事業評価についてご審議いただきたいと考えております。活発なご審議をいただきますようよろしくお願いします。

3 委員変更（増輪事務局長）

続きまして、次第「3 報告」でございますが、その前に、委員の変更についてお知らせいたします。社団法人北海道バス協会 古屋専務理事のバス協会退任に伴いまして、後任に社団法人北海道バス協会 常務理事 日野健一 さま を委員として委嘱させていただきます。残念ながら、本日欠席となっておりますが、よろしくお願いいたします。それでは、次第「3 報告」に入ります。ここからは会長に進行をおねがいします。

4 報告

（1）当別ふれあいバス 平成24年度1月までの実績について

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料1-1～1-3を基に説明。

月別乗降客について、市街地循環線は、平成18年のスタートから厳しい状況が続いております。前年同月と比較して17%減と非常に厳しい状況になっております。西当別・あいの里線については、前年同月と比較して5%減となっております。金沢線については、比較的安定しており前年同月と比較して3%減となっております。青山線については、前年同月と比較して19%減となっております。

月別乗降客データ累計について、当別ふれあいバスはこれまで1年間で、延べ約130,000人以上ご利用いただいている。24年度については、1月現在で110,960人。2、3月でおそらく10,000人程度の利用者と考えている。恐らく130,000人の利用者は見込めると考えております。

運行収入について、23年度は年間10,020,000円となっております。当別ふれあいバスの運行収入は10,000,000円を目標にしております。24年度は1月実績の段階で8,019,300円となっており、非常に苦しい状況となっております。23年度の4月の収入を

比較すると、約380,000円収入が減少しています。何故、前年と比較して4月だけ極端に落ち込んでいるのか、原因を探っている状況です。以上で24年度1月までの実績報告を終わります。

質疑なし

承認

(2) 平成24年度当別町地域公共交通活性化協議会予算執行状況について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料2に基づいて説明。

当初予算は収入、支出ともに47,230,000円となっております。現時点での収入は46,371,999円。支出は7,381,340円となっております。主な支出については、(有)下段モーターズに対するコミュニティバス運行委託費となっております。委託費については、部分払いとなっており、1/4を支払い済みです。残額は精算払いとなっております。今後の主な支出予定については広報公聴費がございます。これは後ほど審議していただきます、25年4月1日ダイヤ改正に伴う時刻表の作成費となります。

以上で24年度当別町地域公共交通活性化協議会予算執行状況についての報告を終わります。

質疑なし

承認

(3) 平成24年度利用促進事業の実施結果について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料3-1、3-2に基づいて説明。

昨年の9月30日(日)に当別町バスまつりを開催させていただきました。この内容をご報告させていただきたいと思っております。みなさんご存じだと思いますが、9月20日はバスの日となっております。その近い日にバスまつりを開催しようとしてきたところです。小雨の中、来場者約1,600人の方に来ていただきました。内容については、国土交通省北海道運輸局のバリアフリー教室の実施、Nゲージの展示やミニディーゼル気動車の乗車体験などを実施しました。また、同時開催としてとうべつさわやか駅伝も開催されました。まつりの開催状況については、資料にある写真のとおりです。

次に、昨年の12月に実施した学校モビリティ・マネジメントについて報告させていただきます。子供の頃から公共交通について理解が必要とのことで、当別町内の小学校の授業の一環として取り入れていただいております。ふれあいバスの存在や公共交通の良さを理解してもらいました。また、BDFを燃料として走っているバスを学校に持ち込み、実際に乗車したり、排気ガスの匂いを嗅いだりなどの体験学習をしていただきました。以上で利用促進事業の実施結果についての報告を終わります。

質疑なし

承認

5 議事

(1) 平成25年4月1日ダイヤ改正(案)について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料4-1、4-2に基づいて説明。

昨年の10月27日に学園都市線完全電化に合わせて、バスのダイヤも冬道に対応できるダイヤとして組みましたが、実際は運行時間に余裕がある、JRとの接続時間がかなりあるなどの状況でありまして、25年4月1日ダイヤ改正でこの辺を見直したいと考えております。また、あいの里金沢線の利用者をもっと増やすため、朝の1便と夜の2便、往復6便を増便していくという形で25年4月1日ダイヤ改正案を提示させていただきたい。

資料4-1をご覧ください。これまで医療大あいの里キャンパスから北海道医療大学まで全19便運行していましたが、朝1便と夜2便を新規に増便し全22便で運行いたします。また、第20便については、JR太美駅からJR当別駅に向かうのではなく、ヒルズで折り返して、またJR太美駅に向かうという形で運行します。表の部分で黒塗りしてある便は、適正な所要時間に見直し、JRとの接続時間を適正な時間に合わせたものです。白塗りしてある便はこれまでのダイヤと変わらないものになります。土日祝ダイヤについては、JR当別駅から医療大あいの里キャンパス行の第2、4、7便と医療大あいの里キャンパスからJR当別駅に向かう第6便については適正な所要時間にダイヤを調節いたしました。

実際に配布しようとしている時刻表の案が資料4-2になります。以上で平成25年4月1日ダイヤ改正(案)について説明を終わります。ご審議をお願いします。

異議なし

提案どおり決定

(2) 平成25年度当別町地域公共交通活性化協議会事業計画・予算(案)について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料5-1、5-2に基づいて説明。

先ほど承認を得ました平成25年4月1日ダイヤ改正に伴いまして、それを反映した25年度の事業計画・予算(案)をご説明いたします。

資料5-1をご覧ください。先ほど承認を得ましたダイヤの運行区間・区域が資料5-1に記載しております。運行系統・運行回数ですが、これまで平日66便でしたが、6便増の72便。土日祝は変わらず28便となっております。運賃等については、これまでと変わっておりません。この計画案に伴う、25年度の予算(案)については資料5-2をご覧ください。24年度当初予算は収入・支出ともに47,230,000円を計上しておりましたが、25年度予算(案)は収入・支出ともに38,761,000円計上しております。収入について、北海道医療大学、スウェーデンハウス、当別町からの負担金34,800,000円、昨年度からの繰越金3,603,000円、広告収入等で358,000円となっており、収入予算を合計38,761,000円となっております。

支出について、事務局費として40,000円、(有)下段モータースへの運行事業費として36,670,000円計上しております。昨年と比較して7,230,000円増えておりますが、これは24年10月27日のダイヤ改正までは4台体制でバスを運行しておりましたが、24年10月27日以降は5台で運行しております。25年度は4月から翌年3月まで5台で運行するため、そ

の分の経費が増えるためです。広報公聴費は昨年同様600,000円、予備費として1,451,000円計上しております。積立金は0円になっておりますが、25年4月1日ダイヤ改正で5台運行していることと燃料費が高騰していることから積立てられる金額が不確定なため、0円で計上しております。支出合計が38,761,000円となっております。以上で25年度の事業計画・予算(案)の説明を終わります。ご審議をお願いします。

異議なし

提案どおり決定

(3) 平成25年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

資料6に基づいて説明。

当別町コミュニティバスは国から補助金をもらって運行しております。補助金を貰うにあたり、必ず事業評価をつけなければいけません。ご審議していただいたのち、承認を得れば国に報告いたします。今回は幹線(医療大学 医療大学あいの里キャンパス)に接続するフィーダー系統(市街地循環線(昇順・降順) 青山線)の事業評価を行いました。事業実施の適切性については、すべての路線で評価Aをつけさせてもらいました。目標・効果達成状況については、市街地循環線(昇順・降順)は評価Aをつけさせてもらいました。青山線については評価Cと目標を達成できなかったという自己評価をつけさせてもらいました。一定の目標を定めて、目標に対して達成できたのかを評価するものですから、最終評価はAあるいはCがつけられるということを理解していただきたい。ご審議をお願いします。

異議なし

提案どおり決定

6 その他

(藤原委員)

資料4-2の表にある社会福祉協議会の電話番号を23-2301から22-2301へ訂正願います。また、資料5-1の2枚目にある社会福祉協議会の住所を西町32番地10から西町32番地2へ訂正願います。

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

申し訳ございません。訂正いたします。

事務局(熊谷美しいまちづくり課長)

次回の会議の予定ですが、来年度の5月下旬から6月に開催したいと思っております。次回は24年度事業実績、収支決算をご審議いただきたいと思っております。また、次回は年度が変わっておりますので、人事異動や役員改選があると思えます。変更等がある場合は予め事務局へご連絡ください。

7 閉会(近藤会長)